



ー 国際空港都市成田から考えようー

なし崩しの外国人受け入れが、日本の自死にならないように！

成田市議会議員
宇都宮 高明

百聞は一見にしかず !!

聞くより、自分の目で見るほうがよくわかる。

百見は一考にしかず !!

見るだけでなく、自分で考えなければならない。

百考は一行にしかず !!

考えるだけでなく、行動しなければならない。

「時代の変化にあわせて、理念や目標の見直しが求められている今日、変化には必ずコストがかかる。その変化に伴うコストを受け入れず、現状維持を続けていれば、後に耐えがたいコストになって跳ね返ってくることを、日本人はもっと自覚すべきだ。

と、政治学者の中西輝政先生(京都大学名誉教授)はご指摘されています。今こそ「行」、行動しなければならない時であるの

成田市の地区別 外国人比率

地域	人口総数	外国人総数	外国人(比率)
成田市合計	133,057 人	10,097 人	7.59%

成田地区	21,283 人	1,811 人	8.51%
公津地区	33,301 人	1,318 人	3.96%
八生地区	3,286 人	67 人	2.04%
中郷地区	1,091 人	48 人	4.40%
久住地区	4,904 人	80 人	1.63%
豊住地区	1,539 人	32 人	2.08%
遠山地区	20,167 人	2,639 人	13.09%
下総地区	5,945 人	212 人	3.57%
大栄地区	10,038 人	940 人	9.36%

NT 地区合計	31,503 人	2,950 人	9.36%
赤坂地区	49 人	2 人	4.08%
吾妻地区	4,099 人	313 人	7.64%
加良部地区	9,306 人	1,608 人	17.28%
橋賀台地区	4,453 人	484 人	10.87%
玉造地区	6,677 人	288 人	4.31%
中台地区	6,919 人	255 人	3.69%

※令和7年1月末現在

に、現状維持を続け、後に耐えがたいコストになって跳ね返ってくる予感がするのが、国の外国人労働者拡大のための「外国人の受け入れ」です。

ついに 1 万人突破！増え続ける成田市の外国人

	日本人	外国人	総人口
令和7年1月末	122,960 人	10,097 人	133,057 人
令和6年1月末	123,679 人	8,353 人	132,032 人
令和5年1月末	124,070 人	6,802 人	130,872 人
令和4年1月末	124,466 人	5,685 人	130,151 人
令和3年1月末	125,577 人	6,193 人	131,770 人
令和2年1月末	126,497 人	6,266 人	132,763 人
平成27年1月末 (2015年)	127,908 人	3,422 人	131,330 人

※令和7年1月末現在

現状維持を続けていれば、後に耐えがたいコストになって跳ね返ってくることを、日本人はもっと自覚すべきだ。

私は2011年6月から1年間、関東市議会議長の副会長を務めました。その時、同じ副会長として活動されていたのが、埼玉県川口市の議長さんでした。当時から川口市における外国人問題や多文化共生の取組みについて色々と語られていました。最近の川口市クルド人問題に関して、川口市は国に対して、「地方自治体まかせにするのではなく、不法行為を行う外国人への対応、仮放免者についての国からの援助措置を含め、国の責任において適否を判断していただきたい」との要望を行いました。この記事に接した時、私は、10数年前の関東市議会議長時代より今日まで、外国人の受け入れに関して国として抜本的な方針を示すことなく、現状維持を続けてきた結果であると思いました。

どこの国が多い？成田市在住 出身国ランキング

順位	国	人口	順位	国	人口
1 位	ネパール	1,915 人	6 位	インドネシア	674 人
2 位	フィリピン	1,348 人	7 位	韓国	466 人
3 位	ベトナム	1,163 人	8 位	タイ	458 人
4 位	中国	1,090 人	9 位	台湾	335 人
5 位	スリランカ	1,010 人	10 位	ミャンマー	317 人

※令和7年1月末現在

総人口に対する外国人割合 県内で2位の成田市

2024年1月現在の国内の外国人住民は前年比11%増の332万3374人であり、一方、日本人住民は0.7%減となり結果的に住民に占める外国人住民の比率は急激に上昇し、地域での対応が急務となっています。

成田空港の拡大により現在4万人の空港従業員が7万人に増加し、そのうち多くの外国人の就労が見込まれております。このような状況下において成田市でも「外国人の受け入れ」は市としてもしっかりとした対応をしなければなりません。1面の表のとおり成田市の在住日本人は減少しているものの、在住外国人の増加により13万人を維持していることが読み取れます。

「成田市多文化共生指針」の中で「市は、多文化共生の地域づくりにおいて連携の中心的な役割を果たしていかなければならない」と書かれていますので、私は2024年12月議会にこの件について尋ねました。



急速に外国人が増えています、成田市在住の外国人コミュニティの実態把握はしていますか？



成田市は総人口に対する外国人の割合が県内で富里市に次いで2番目です。市内には様々な外国人コミュニティがあると思いますが、把握には至っておりません。



日経グローバルの全国自治体調査で日本語の学習支援が多数を示しています。児童生徒に対する日本語集中教室や市立日本語学校の設置を提案します。



大規模な教室は開設が困難であり、学校内で日本語教育の充実を図っていきます。

現時点では市は市内の外国人コミュニティの実態を把握していませんが、2025年度アンケート調査を行うことになりました。

文化や生活習慣が違う住民が一緒になれば摩擦や衝突があっても当然

川口市クルド人問題に接するにつけ、多文化共生という理念だけではすまない、厳しい現実があるのも事実です。子供たちの教育問題、医療福祉の問題やゴミ出しや騒音など生活マナーのルール問題等々の要因の、第一は、適切な情報伝達やコミュニケーションを図ることができない「ことばの壁」とであると考えます。

埼玉・川口市がクルド人めぐり 国に異例の訴えなぜ？現場で何が？

埼玉県川口市で2023年7月、病院に100人近くの外国人が集結する騒動が発生しました。川口市ではトルコから来たクルド人のコミュニティが拡大し、ゴミ出しのルールや生活習慣などの違いによる、住民との摩擦も目立っています。一方、クルド人をめぐっては支援が必要だという声も上がっています。そうした中、川口市が国に政策の見直しを訴える異例の事態に。いったい何が起きているのか取材しました。

(NHK首都圏ナビより)

また、国籍や文化、生活習慣の違いから日本人、外国人住民双方が関わりを避ける等々、文化や生活習慣が違う住民が一緒になれば摩擦や衝突があっても当然であると考えなければなりません。

移民政策は、変えていかないとしながら外国人労働者受入れの緩和を進めようとしている現在の国の政策には、大変な「危うさ」を感じています。「地方自治体まかせにするのではなく、国の責任において適否を判断してもらいたい。」との川口市市長の要望は、そのとおりだと思います。

日本の現行制度では、国、県、市そして警察・検察、入管などに権限が分散されており、統括した責任体制がなく、外国人を大量に受け入れる体制づくりができていないのが実態です。

移民・難民のあり方を 国全体で議論すべき時

移民と難民によって、治安の悪化が生じ、国の形さらには社会のあり方が変わろうとしていることをテーマとした「西欧の自死：ダグラス・マレー著」の指摘は、現在の西欧の政治状況に現れています。

国は人手不足分野に外国人材の受け入れを決定しましたが、移民・難民のあり方を国全体で議論すべき時です。国も地方自治体も個別対応している今日、なし崩し的に外国人の受け入れが拡大している現状は「日本の自死」にもつながりかねません。

日本最大の国際空港を有する成田市が、川口市クルド人問題から学び「外国人受け入れ」の先進的自治体を目指すことが、今後成田市民が安心・安全に暮らし続けていける為の必須のまちづくりです。

いま、読んでおきたい書籍

『西洋の敗北』
(エマニュエル・トッド)

西洋の敗北は、今や確実なものとなっている。しかし、一つの疑問が残る。日本は「敗北する西洋」の一部なのだろうか。

『西洋の自死』
(ダグラス・マレー)

多文化主義と大量移民が西洋の価値観を揺るがし、文明の衰退を加速させていると警鐘を鳴らす。

『逆襲される文明』
ー日本人へⅣー
(塩野七生)

今のヨーロッパをゆり動かしている、そしていずれは日本も無縁ではいられない時が来るにちがいない、「難民」の問題である。我が祖国日本がこの難問に直面する時期が、なるべく遅く来てほしいと祈るだけである。

西洋の敗北
日本と世界に何が起きているのか
La Défaite de l'Occident
Emmanuel TODD
エマニュエル・トッド
大野 豊 (訳)

米欧と欧州は自滅した。日本が強いられる「選択」は？

THE STRANGE DEATH OF EUROPE
Immigration, Identity, Islam
DOUGLAS MURRAY
西の自死
移民・アイデンティティ・イスラム
ダグラス・マレー著
中野 剛志 (訳)
英国で10万部超！
23ヵ国で翻訳！
ベストセラー
欧州リベラリズムの死に方
米欧のジャーナリスト
誰も逃げなかった
データに紐づく